


アイルランド		
		
<p>緑はアイルランドのカトリック教徒を、オレンジ色はプロテスタント教徒を表し、白はカトリックとプロテスタントとの平和を示している。また、別に、緑は古い要素を、オレンジは新しい要素を、白は二つの友情を示している。</p>		
<p>独立：1949/4/18 英国より 国連加盟：1955/12/14 政体：共和制</p>		国 の 概 要
	首都	ダブリン
	国土	面積 7万km ² （北海道とほぼ同じ） アイルランド島の北東部を除く大部分を占めている。北東部はイギリス領北アイルランドで、セントジョーンズ海峡を隔ててイギリス本土と接している。 地形は平均高度が 100～300m の丘陵地で、多くの河川が流れ、約 800 もの湖沼が散在し、風光明媚な自然を形作っている。
	人口	420 万人
	主要言語	英語（公用語）、アイルランド語（公用語）
	通貨	ユーロ
	気候	メキシコ湾流の影響で高緯度にもかかわらず比較的温暖であり、冬の降雪もほとんどみられない。しかし、年間を通じて晴天は少なく、ことに冬は曇天ないし雨模様の日が続く。雨量は偏西風の影響を受けて西部に多く、年間 1,000mm を越える。
	民族	ケルト系アイルランド人 97%
	宗教	カトリック 92%、アイルランド教会
教 育 制 度 の 概 要	学校体系	・初等教育 5 年（6 歳～12 歳）、中等教育（前期課程 12 歳～15 歳）、中等教育（後期課程 15 歳～18 歳）、高等教育（大学、科学技術カレッジ、教員養成カレッジ）、19 歳～となっている。
	義務教育	・6 歳から 16 歳までの 9 年間であるが、ほとんどの子どもは 6 歳以前の幼児学級から就学している。学校予算の大部分は国と地方からの補助金で賄われている。 ・初等教育の大多数の子どもたちは、教区の教会（カトリック、プロテスタントなど）が運営するミッションスクール（国立）に通う。それぞれの学校が、親、教師、地域共同体の代表者を含む管理委員会によって監督されている。 ・中等教育は中等学校、職業学校、コミュニティ・スクール、コンプリヘンシブ・スクール（総合中等学校）で行われている。

	<p>るが、中等教育を受けている生徒の 60% が中等学校へ通っている。中等学校は民間経営（私学）であり、大多数は修道会が運営、残りは学校法人や個人が経営している。ほとんどの中等学校は教育費は無料である。職業学校には中等教育を受けている生徒の 25% が通学しており、学校は職業教育委員会によって運営されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その年の 9 月 1 日までに満 6 歳になる者は、その年の 9 月 1 日に義務教育の第 1 学年に入学する。 ・授業料は無料である。
日本と比較した教育課程上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・初等教育は 3 学期制で、1 学期は 9 月～12 月、2 学期は 1 月～4 月、3 学期は 4 月～6 月となっている。 ・初等教育のカリキュラムは教育課程評議会が定め、教育省の検査官チームが各学校において教育規定が正しく運営されているかを監督する。 ・初等教育の教科は数学、国語、アイルランド語、歴史、地理、芸術、音楽、技術、社会と環境、体育である。休憩、集会時間を含んで学習時間は 5 時間 40 分で、就学日数は 1 年間で 183 日以上である。 ・中等教育では 2 学期制をとり、1 学期は 9 月～12 月、2 学期は 1 月～5 月となっている。 ・中等教育の教科は、アイルランド語、国語、フランス語（ドイツ語・スペイン語）、数学、科学（物理学、化学、生物学）、歴史、地理、宗教教育、社会、政治教育、体育、音楽、他に 2 つの選択科目がある。
義務教育後の教育	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育終了後、後期課程の中等教育を受ける者が多数を占める。 ・後期課程が終了する時点で、国内統一試験を受け、高等教育への資格を取得する。この資格の有無、成績によって大学進学や就職に影響が出るため、重要視されている。 ・高等教育への進学者はほぼ半数で、そのほぼ 62% が学位取得課程に在籍している。高等教育は総合大学、科学技術カレッジ、教員養成カレッジで実施、ほとんどが国の予算で賄われている。学校は自治を有している。近年、私立カレッジがいくつか開校し、ビジネス関連コースを提供している。
就学前教育	<ul style="list-style-type: none"> ・義務ではないが、4 歳になると初等学校付設の幼児学級に入ることができる。対象はジュニアインファントが 4～5 歳、

		<p>シニアインファントが5～6歳である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立のモンテッソーリ学校や養護学校などもある。
学 校 生 活	休業期間	<ul style="list-style-type: none"> ・イースターとクリスマスに休暇がある。
	教育内容の差異	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題は毎日出される。
	給食	<ul style="list-style-type: none"> ・給食はなく、原則として弁当持参。ごく一部の学校には食堂がある。
	校則	<ul style="list-style-type: none"> ・服装は、ほとんどが制服着用であるが、公立校の一部は自由となっている。 ・通学は、低学年の場合。親などが送迎するが、高学年になるとバスや電車などを利用する。
生 活 習 慣 等	食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・主食のじゃがいもをはじめ、穀類、羊、牛肉を使った素朴で温かみのある料理をベースとしながら、海の幸も豊富である。代表的な料理としては、ソーダブレッド、アイリッシュシチュー、シェパーズパイ、アイリッシュクリーム・チーズケーキがある。

<参考資料>

- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・諸外国の学校情報・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・ジュニア世界の国旗図鑑・・・・・・・・平凡社
- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・アイルランドの社会・・・・・・・・グローブ
- ・世界の料理アイルランド・・・・・・・・旭化成ホームプロダクツ